

|  |   |      |    |   |                                  |
|--|---|------|----|---|----------------------------------|
| フリガナ   |   |      | 性別 |   |                                  |
| お名前  |   |      | 年代 | <input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代<br><input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上 |                                  |
| 連絡先  | 住所  | 〒    |    |   |                                  |
|  | 電話  |      |    |   |                                  |
|  | FAX   |      |    |   |                                  |
|  | Eメール  |      |    |   |                                  |
| 参加希望   | <input type="checkbox"/> 3回連続受講 <input type="checkbox"/> 2月1日公開講座のみ受講 |      |    |   |                                  |
| 託児<br>生後6ヶ月から<br>小学2年生まで<br>託児は会場周辺<br>の託児施設を予<br>定しています<br>※要予約 | お子様<br>について   | フリガナ |    | 性別  | 年齢(2/1現在)                        |
|  |   | お名前  |    |   | 歳    ヶ月<br>(生年月日    年    月    日) |
|  |   | フリガナ |    | 性別  | 年齢(2/1現在)                        |
|  |   | お名前  |    |   | 歳    ヶ月<br>(生年月日    年    月    日) |
| 参加希望理由   |   |      |    |   |                                  |

※個人情報、本講座の連絡及び男女共同参画、マルヤガーデンズアカデミーに関する情報提供以外には使用致しません。

**申込み先**  
● 鹿児島県男女共同参画センター  
〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50  
TEL 099-221-6603  
FAX 099-221-6640  
E-mail p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp  
● マルヤガーデンズ オペレーションセンター  
TEL 099-813-8108

**申込み方法**  
● 鹿児島県男女共同参画センター  
①申込み用紙にてメール・FAXで申し込む(24時間受付)  
②お電話または直接男女共同参画センターで申し込む  
(受付時間9時~17時/月曜休館※祝日の場合は翌日)  
マルヤガーデンズ  
③お電話または直接マルヤガーデンズ1階インフォメー  
ションで申し込む(受付時間10時~20時)

実施団体 **ピア・スタディング** ● この講座は鹿児島県、マルヤガーデンズ、ピア・スタディングの協働で実施します ●

# わたし×働くの これからをデザインする **3 DAYS** vol.3

## しあわせに働ける社会へ



竹信三恵子さん

● ジャーナリスト ● 和光大学名誉教授

1976年、朝日新聞社に入社。同社編集委員兼論説委員、和光大学現代人間学部教授などを経て、2019年4月から同大名誉教授。2009年、貧困ジャーナリズム大賞。著書に『家事労働ハラスメント〜生きづらさの根にあるもの』(岩波新書)など。近著に『企業ファースト化する日本〜虚妄のく働き方改革を問う』(岩波書店)。

「わたし×働くのこれからをデザインする3DAYS」の1日目は、新聞社で長年、労働担当の記者としてジェンダー差別や労働について報道してこられた竹信三恵子さんをお迎えし、働く女性を取り巻く社会環境に加え、安心して働くために必要な知識や知恵についてご講演頂きます。広く皆さまにご参加頂けるよう1日目は公開講座として開催します。

### 公開講座

● 問合せ先 ● 鹿児島県男女共同参画センター  
TEL 099-221-6603 FAX 099-221-6640  
E-mail p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp

主催 鹿児島県 共催 Maruya gardens

**2.1(土)**

**14:00-16:00**

マルヤガーデンズ

5階アートギャラリー

定員 **100** 参加 **無料** 託児 **有**

申込み締切  
**1.10(金) 必着**

申込み多数の場合は抽選となります。  
当選者にはハガキでお知らせします。

# わたし×働くの これからをデザインする 3 DAYS vol.3

私たち女性は、ライフステージの様々な段階で経験する可能性のある“結婚”“出産”“育児”“介護”等のライフイベントによって、生き方の選択を迫られることが多い“性”を生きています。

それぞれが望む“わたし”と現在の状況の間には隔たりがあり、いろんな立場を生きる女性たちが、それぞれの将来に漠然とした不安を抱えています。

結婚しているか、していないか…、子どもがいるか、いないか…正規雇用か非正規雇用か…etc…。立場の違いがあっても、漠然とした不安の根っこにあるのは“ジェンダー”

立場の違いを超えて、共に学び、共に語りあいながら…

明日へのちょっとした希望をつかめたら…

そんな思いを込めて、「わたし×働くのこれからをデザインする3DAYS」を開講します！

**1日目** **公開講座** **しあわせに働ける社会へ** **講師 竹信三恵子さん**  
**2.1(土)** **会場** マルヤガーデンズ5階アートギャラリー **時間** 14:00-16:00

※1日目は公開講座として実施しますが、申込み多数の場合は3回連続講座受講生を優先します。

**2日目** **アサーティブ・トレーニング～“わたし”を“わたし”の真ん中に～**  
**2.16(日)** **会場** マルヤガーデンズ5階アートギャラリー **時間** 10:30-15:30  
 (12:30-13:30休憩)

私たち女性は、生活や仕事のあらゆる場面において、自分よりも他者の欲求を優先しがちな日々を繰り返す中で“私”がわたしである”ということに無自覚になりがちです。自分の気持ちに正直に向き合い、誠実に言葉にすることは、相手との対等な人間関係を築く上でとても大切です。2日目は、自分も他者も大切にできる“わたし”になるためのアサーティブ・コミュニケーションについて学びます。

**3日目** **“わたし”のことを“わたしたち”で語る～これまでの学びを振り返るダイアログ～**  
**2.23(日)** **会場** マルヤガーデンズ5階アートギャラリー **時間** 14:00-16:00

3日間の学びを共有した立場のちがう“わたし”たちで重ねる対話。これまでの学びを振り返りながら、感じたこと、考えことを、その場に集うを一人ひとりを大切にしながらお話ししましょう。

|    |  |
|----|--|
| 対象 | ● 1日目 どなたでも ● 2・3日目 自分の“これから”を“働く”ということを切り口に考えてみたい女性 |
| 定員 | ● 1日目 <b>100名</b> ● 2・3日目 <b>30名</b>                 |
| 託児 | 有り 1/10(金) 申込み締切<br>無料 6ヶ月～小学2年生まで                   |

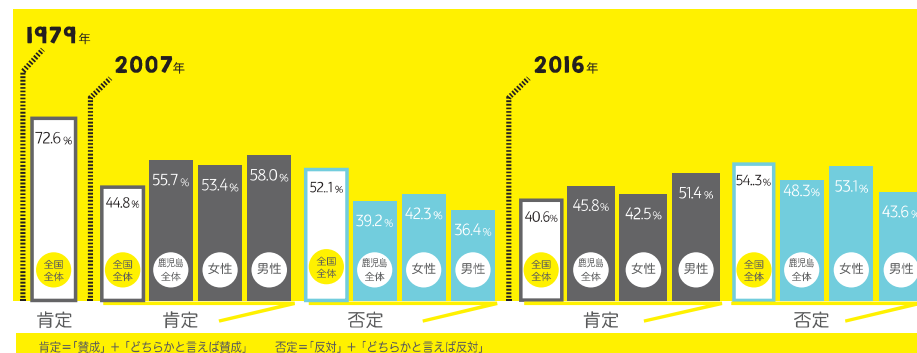
駐車無料  
 駐車場はマルヤガーデンズパーキング(3階連絡通路直結)、丸屋第一駐車場、丸屋第三駐車場をご利用ください。

## 男女共同参画の視点でみる わたしたちの“働く”にかかわる数字

働いているか、いないか、結婚しているか、していないか…、子どもがいるか、いないか…、正規雇用か非正規雇用かetc…。とにかく二分されがちな私たち女性ですが、それぞれが抱える問題の根っこは同じなのでは?と…これらの数字が問いかけているように思い、私たちは男女共同参画を学び続けています。是非、あなたも一緒に学んでみませんか?

### 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について

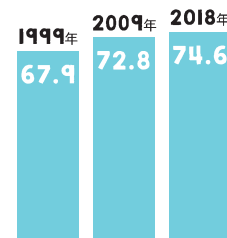
本県の県民意識調査(2016年度)において、初めて「否定」(48.3%)が、「肯定」(45.8%)を上回ったが、内閣府の調査と比較すると、肯定する人の割合が5.2ポイント高くなっている。男女別に見ると、男女共に、2007年度調査と比較すると肯定する人の割合は減少し、否定する人の割合は増加しているが、依然として男性では「肯定」(51.4%)する人の割合が、「否定」(43.6%)する人の割合より7.8ポイント高くなっている。



鹿児島県「鹿児島県の男女の意識に関する調査」(平成19,23年度) / 鹿児島県「男女共同参画に関する県民意識調査」(平成28年度) 総理府「婦人(1部)に関する世論調査」(昭和54年度) / 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成19,28年度)

### 男女間の賃金格差

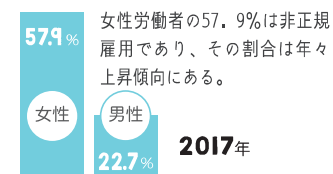
本県の民営事業所における一般労働者の男女間賃金格差は年々縮小傾向にあるものの、男性を100とした場合に女性は74.6にとどまっている。



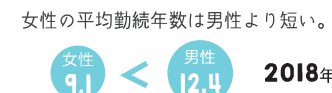
### 男女の地位の平等感(職場)

職場の中で「平等である」と回答した人の割合は、女性で22.1%、男性で31.6%となっており、女性の方が9.5ポイント低くなっている。

### 非正規雇用者の割合



### 男女別平均勤続年数



厚生労働省「賃金構造基本統計調査」 / 鹿児島県「平成28年度鹿児島県労働条件実態調査報告書」 鹿児島県「平成29年度就業構造基本調査結果～鹿児島県の概要～」 / 鹿児島県「男女共同参画に関する県民意識調査」(平成28年度)